贈呈　大林　やまゆり敬長殿

教養月報

編集兼発行人
花田　実
発行所
神奈川県総務部
職員課

1めん…オリンピック選手村拝見
2めん…文章のいのち～八木義徳
3めん…文章コンクール審査結果
4めん～7めん…入選作品掲載
7めん…前田義方氏の裸の持ち味
8めん…アンケート
［20年まえの8月15日］
9めん…新庁舎地下の鯨の化石
10めん…氷泳・ソフト大会結果

1964, 東京オリンピック・スタート

第18回オリンピック東京大会は、10月10日（土）の国立競技場で行なわれる開会式から幕を開く。そして、東京・神奈川・埼玉・長野の各県に散在している競技場で熱戦が展開され、10月24日（土）の閉会式で幕を閉じる。

選手村拝見

☆……近代……★

オリンピックの歴史のなかで、オリンピック村という言葉が公式の席上で使われだしたのは、一九三四年（大正十三年）の第八回パリ大会のころからといわれている。そして現実に企画された村生活の営みがなされたのは、一九三〇年（昭和五年）のI・O・C（国際オリンピック委員会）で「開催国の組織委員会は男子用と女子用とのオリンピック村を準備しなければならない」と義務づけられたときからで、一九三二年（昭和七年）の第十回ロサンゼルス大会からである。当時はオリンピック大会が博覧会の余興のように思われていた時代で施設も粗末なものであった。

しかし年を追って施設も立派なものになり、前回のローマ大会では、三五万平方メートルの敷地に高層の鉄筋コンクリートの宿舎が建ちならび、七、五〇〇人の選手が収容できるものであった。

☆……東京……★

大会のオリンピック村は、明治公園にほとんど近い渋谷代々木ワシントンハイツの七五万平方メートルの敷地に、現存の施設を転用して、約八、〇〇〇人を収容する環境、施設とも過去の大会のそれにまさる選手村といえる。

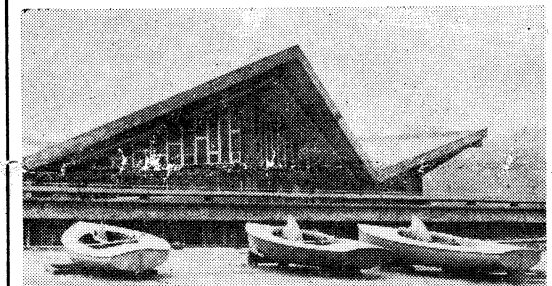
オリンピック開催の成功、不成功の鍵は、競技の運営とオリンピック村の適否にあるといわれている。

特に選手村は、直接選手のコンディションに影響を与える日常生活の場であるだけに、その運営及び施設については、細心の配慮を要求される。

☆……選手村……★

の若人が共同生活を営むことで、お互いを理解しあうというオリンピックの目的にそうこと。第二は近代オリンピック大会が回を重ねるにつれ参加人員も増え、ホテルなどに到底収容しきれなくなったこと、第三は、選手たちが誰にも気がねすることなく快適な生活が楽しめ、ベストコンディションを作るのに適当な環境が必要なことからである。

従って、一九六四年の東京大会における選手村設置、運営の目標としては、オリンピック憲章に規定されている選手団に属する選手及び役員に対して、十分な休養と栄養を与えて、最高のコンディションにのぞむことを設置する理由の第一は、世界



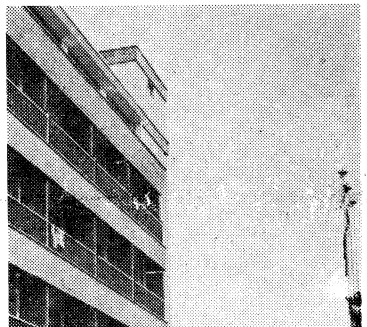
理想

東京都渋谷代々木ワシントンハイツ（昭和三七年）政府に返還された代々木選手村本村と選手村本村とワシントンハイツ（スポーツセンター）大会の第一会場と第二会場として近い利点を生かして既存の施設もピック村として

大磯選手

《ヨット分村》

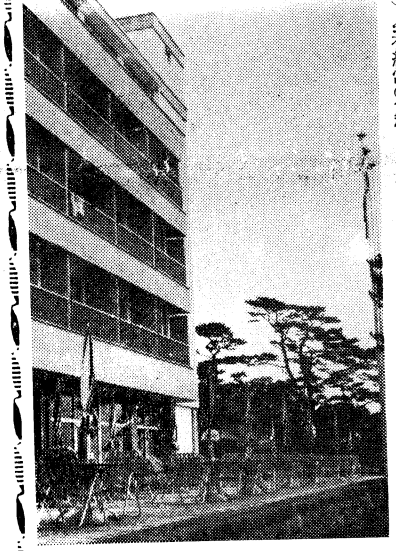
ヨット競技に参加する選手及び監督の宿舎として、西武鉄道（株）会社経営の大磯ロングビーチホテルから十月一日間で、一る。村の開

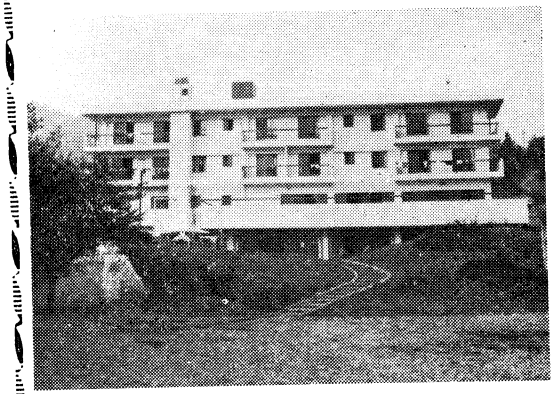


大磯選手村

《ヨット分村》

ヨット競技に参加する選手及監督の宿舎として、西武鉄道(株)会社経営の大磯ロングビーチホテルを借り上げ運営される。村の開村期間は九月十五日から十月二十七日までの四十三日間で、二十八日以降は代々木選手村が使用される。入村を予定されている人員は、選手、監督を合せて約三〇〇人(約四十カ国)である。





【写真 (上) 大磯ホテル】

相模湖選手村

《カヌー分村》

カヌー競技参加選手及び監督役員などの宿舎として、代々木選手村が決定されていたが、遠隔地のため競技運営に支障を生じる関係などから、このほど開かれた第五十四回組織委員会(昭和三十九年四月一日)において正式に相模湖選手村の設置が決定された。

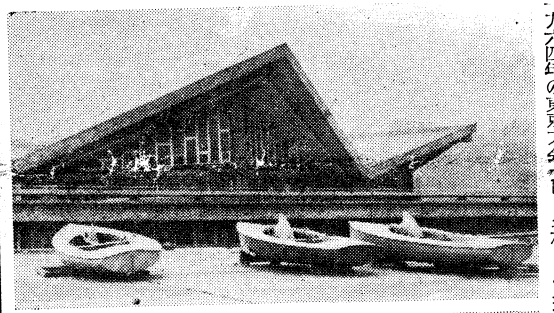
選手村は男子宿舎として、現存の相模湖ホテル(京王観光(株)会社)経営の一部を撤去し、その敷地内に宿舎が建設(仮設)され、男子選手、役員の宿舎となる。

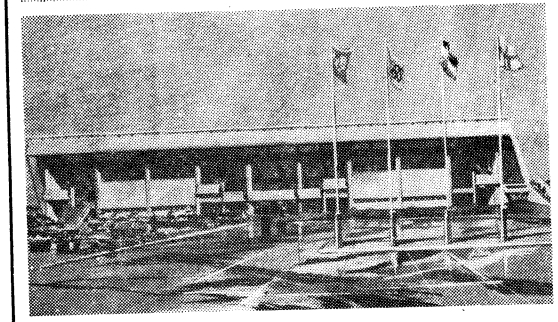
女子選手は既設の相模湖ユースホステルがそのまま宿舎となる。

村の開村期間は九月十五日から十一月五日までの五十二日間で、入村を予定される選手、役員は男子約二五〇人、女子約五〇人(二十数カ国)が入村することになる。

このため、関係者は二つの村の運営がオリンピック大会の成功、不成功の鍵ともなるので、その運営に万全の努力をすすめている。

【写真 (下) 相模湖ユースホステル】





…写真…
(上) 相模湖カヌー会場右から審判塔　艇庫　本部庁舎
(中) 江の島ヨットハーバーに新築中のヨットクラブ
(下) 横浜市三ツ沢に建築中の蹴球場完成図

理想的な施設

美容院・劇場なども

東京都渋谷区代々木の米軍居住地ワシントンハイツは、一九六四年(昭和三七年)十一月、日本国政府に返還されることが決定し、代々木選手村と命名され、大会の選手村本村となった。同地はワシントンハイツ跡の一画に建設中のスポーツセンターと地続きにあり大会の第一会場となる明治公園、第二会場となる駒沢公園にも極めて近い利点を有するほか、環境、既存の施設も優れており、オリンピック村として理想的である。

ここに男子、女子合せて約七、五〇〇人の選手役員を収容し、村の内部には選手宿舎のほか、大食堂、娯楽室、劇場、銀行、郵便局、診療所、さらに美容院、むしブロ(北欧式のサウナ)まで用意され「小さな都会の様相をみせている。

☆……七十万五千食の準備も完了……★

そこで最も力を入れているのは選手の台所をあずかる食事である。大世帯の台所だけあって、コック、ボーイなど約九〇〇人が動員され、日本ホテル協会給食準備委員会が中心となって〝食料作戦〟をねっている。

選手一人一日の食費は二、一六〇円、六、〇〇〇カロリーを提供し、日本の重労働者の平均が三、八〇〇カロリーで約倍に相当する。

オリンピック村が開かれる九月十五日から十一月五日までの五十二日間に出される食事の数は、延べ約二十三万五千人分、七五万五千食、各国の特徴をとり入れた〝オリンピック料理〟の材料はウシ三百四十頭、ブタ二百八十頭、ニワトリ六万羽、タマゴ七十二万個、ミルク一合ビン四十八万本といったぐあいで、その世帯の広大さがうかがわれる。

これら本村のほか、ヨット(大磯)・カヌー(相模湖)・自転車(八王子)・馬術(軽井沢)が、それぞれ分村となるわけである。

【オリンピック課　田中　隆】

《船泊中》

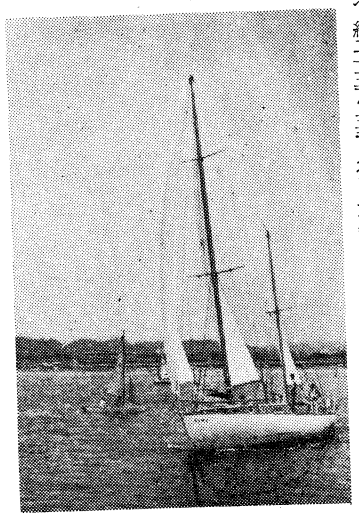
オリンピックのとき外人観光客を乗せてくる客船をそのまま桟橋に停泊させて、宿泊施設としてすでに申込み済みのものは、東京港(晴海ふ頭)5隻、横浜港(大桟橋等)7隻、川崎港2隻である。

《通訳》

オリンピック大会開会時の通訳としての県内の免許所持者は合計231名。(英語~203名、独語~7名、仏語~11名、西語~7名、露語~3名)

県内からは約950名の通訳が依頼されるが、このうちの400名程度は学生から募集される。

オリンピックの通訳は、外国の習慣、マナーに通じた上に、各競技の専門語をも知らなければならないので、非常にむずかしいといわれる。だが、町角あちこちでの道案内ぐらいは県職員として心得ておきたいもの……。



ヨット警備艇 **やまゆり号**

船舶の種類…帆船(発動機付)
トン数…一九・五七トン　乗員6名
長さ…一〇・三メートル
巾…三・四メートル　深さ…二・一メートル

江の島ヨットハーバーの完成を控え、県警所有の新鋭帆船やまゆり号(37年3月進水)は、大林艇長を中心にオリンピック警備の重責を担って、忙しい海岸警備の合い間に訓練に励んでいる。

…予告…

第16回県職員 文化展

期間…昭和39年10月27日(火)から10月31日(土)まで

会場…職員会館

今年も例年のとおり、文化展を開催する予定です。(詳細は9月号に掲載)

種目…絵画・工芸・書道・花道・収集・写真・短歌・俳句(教養月報紙上コンクール)